

平成 21 年度 3 年生 腎・尿路テュトーリアル 腎臓試験問題

平成 22 年 2 月 5 日

【問 1】 急性腎不全に対する治療上、特に重要なものはどれか。

- | | |
|-------------------|---------------|
| 1. 高圧血症の治療 | 1. 〇 |
| 2. 感染・消化管出血の予防 | 2. 〇 |
| 3. 透析中における血圧低下の予防 | 3. 〇 |
| 4. 代謝性アルカローシスの治療 | 4. × 代謝性アシトシス |
| 5. 高尿酸血症の治療 | 5. × |

a. 1,2,3 b. 1,2,5 c. 1,4,5 d. 2,3,4 e. 3,4,5

【問 2】 高カリウム血症に対する緊急処置として正しいのはどれか。

- | | |
|-------------------------|------|
| 1. 8.5%グルコン酸カルシウムを静注する。 | 1. 〇 |
| 2. 10%グリセオールを静注する。 | 2. × |
| 3. 7%重炭酸ナトリウムを静注する。 | 3. 〇 |
| 4. 20%マンニトールを静注する。 | 4. × |
| 5. イオン交換樹脂を注腸する。 | 5. 〇 |

a. 1,2,3 b. 1,2,5 c. 1,3,5 d. 2,3,4 e. 2,4,5

【問 3】 正しいのはどれか。

1. 健康成人でも生理的蛋白尿として 500mg/日認めることがある。
2. 尿検査でウロビリノーゲン陰性は正常である。
3. 尿沈渣に上皮円柱を認めるときは腎炎と診断できる。
4. CKD（慢性腎臓病）の腎障害進行のリスクファクターに加齢がある。

a. 1,2 b. 1,4 c. 2,3 d. 3,4

【問4】糖尿病性腎症について誤っているのはどれか。

1. 腎症の診断には微量のアルブミン尿の測定が重要である。
2. 血液透析療法導入患者の原因疾患第一位は糖尿病性腎症である。
3. 腎症の病理学的特徴はメサンギウム細胞増殖である。
4. 病期3期より蛋白制限食が提唱される。

○

○

×

糸球体の病変

×

第2期から制限

- a. 1,2 b. 1,4 c. 2,3 d. 3,4

【問5】ネフローゼ症候群の診断に必須なものはどれか。2つ選べ。

- a. 血清クレアチニン $>2\text{mg/dL}$
- b. 尿蛋白 $>3.5\text{g/day}$
- c. 血清アルブミン $<3.0\text{g/dL}$
- d. 尿酸 $>8\text{mg/dL}$
- e. 血清K $>5\text{mEq/L}$

b, c.

【問6】尿試験紙法で測定できないものはどれか。2つ選べ。

多量蛋白

- b. 血尿
- c. アルブミン
- d. 免疫グロブリンL鎖
- e. 浸透圧

d, e.

【問7】IgA腎症の診断について正しいのはどれか。2つ選べ。

- a. 高齢者に多い
- b. 偶然に機会による検尿異常で発見される
- c. 上気道炎の1~2週後に肉眼的血尿が出現する
- d. IgA $>315\text{mg/dL}$ が50%に認められる
- e. 予後良好である

b, d.

a. 15~40才, 80~89才

、慢性

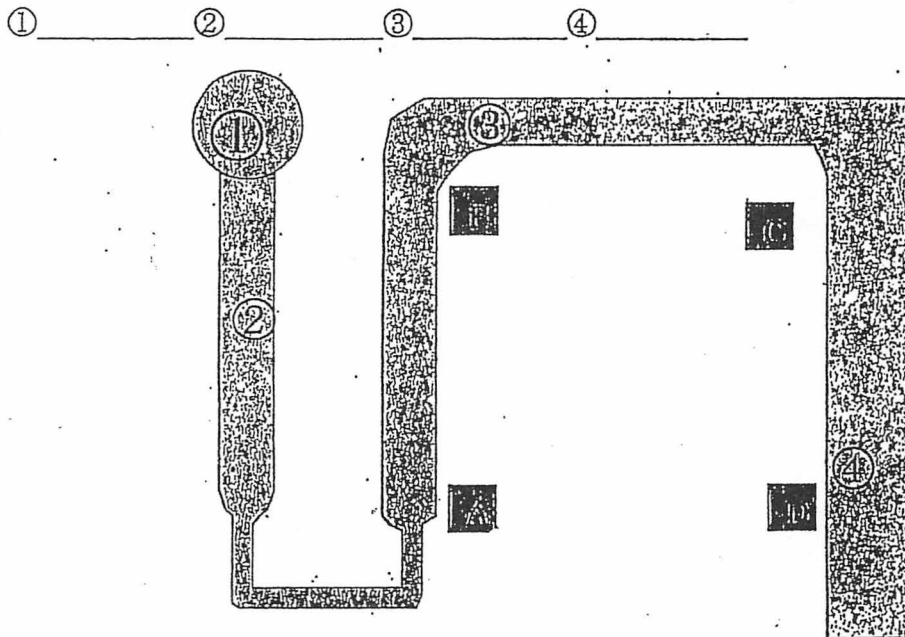
e. 腎生後

20年で80%か

早期は腎不全

【問 8】下記図は、腎臓の構造の一部を模式的に示したものであるが①から③までの名称をア～オの中から一つ選べ

ア:ヘンレループ イ:糸球体 ウ:近位尿細管 エ:遠位尿細管 オ:集合管



上記図の A～D 付近のチャンネル等に関係の深いものを下記（あ～え）より選択しなさい。

あ:アルドステロン い:サイアザイド系利尿薬 う:ループ利尿薬
え:抗利尿ホルモン

A _____ B _____ C _____ D _____